

|     |  |     |                 |
|-----|--|-----|-----------------|
| 提案名 | 『地域工務店元気倍増プログラム』 Wood Alive System 200 | 分野  | 維持管理・流通の分野に係る提案 |
| 提案者 | 株式会社ウッドワン                              | 種別  | システム提案          |
| 構造  | 木造（在来軸組）                               | 建て方 | 一戸建ての住宅         |

■提案の基本的な考え方

住まいが長く住み続けられるためには、住まいが長く地域に愛され、住まい手が自らの住まいに愛着を持つ事が必要です。ウッドワンは、住まいの品質担保のために『WAS200』という家づくり・家まもりのトータルサポートシステムを構築し、住まい手の愛着の醸成のために『家楽倶楽部』という地域活動を主体とした全国組織を結成します。日本各地の地域工務店が元気であり続け、長期にわたり住まいの価値が維持されていくために、ウッドワンはこれらのプログラムで応援していきます。

● WAS200（ウッドアライブシステム200）とは

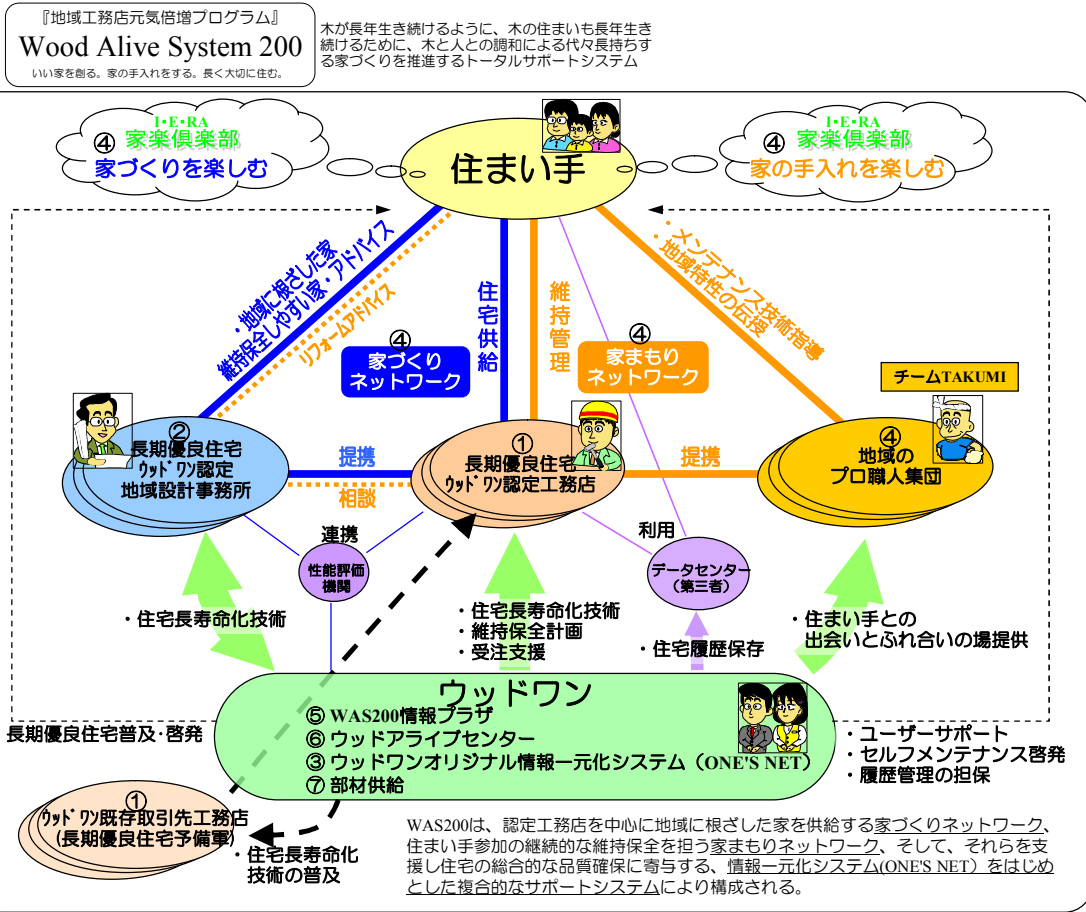
地域の工務店による『代々長持ち住宅』の供給と長期的な維持管理を支援する、総合的なサポートシステム。

● 家楽倶楽部（イエラクラブ）とは

住まい手が愛着を持って自ら『家づくり』『家まもり』に関わっていくという意識向上と実践のための活動。地域工務店を中心に地域のプロの職人集団・地域設計事務所と住まい手が一体となり実践し、ウッドワンはその活動をサポートしていく。

■提案内容

地域の特性を踏まえて建設された住宅を、その地域に根ざした工務店・職人・住まい手が地場でメンテナンスしないと長期にわたる維持管理は不可能との認識の上で、ウッドワンは住まい手と、地域の工務店・設計事務所・プロ職人集団との出会いとふれ合いの場をコーディネートし、人間関係を深める事により、住まい手が愛着を持って自らも維持管理に参加していく環境を構築する。また、これを通じて地域の生業・生態系の維持再生（地域の職人の手仕事を担保して技術を継承）と地域に根付いた街並みの維持していく。



## 1. 家づくりネットワーク・・・住まい手参加の家づくり

住まい手・認定工務店・地域認定設計事務所のトライアングルをコーディネート。住まい手参加の地域に根付いた家づくりを支援。

- **ウッドワン認定工務店制度(図中①)**・・・住宅長寿命化技術の普及と住まい手への安心提供
  - ・地域工務店への住宅長寿命化技術・維持保全計画提供による品質確保
  - ・同一エリア内認定工務店の相互補完による、住宅着工から完成、維持保全にいたるまでの住まい手への安心提供
- **ウッドワン認定設計事務所(図中②)**・・・『代々長持ち住宅・設計チェックリスト』＋地域特性をプランに反映
  - ・地域設計事務所への住宅長寿命化技術提供による、地域特性を活かした上での設計品質の確保

## 2. 家まもりネットワーク・・・住まい手自らの家まもり

住まい手・認定工務店・チーム TAKUMI (地域のプロ職人集団)のトライアングルをコーディネート。住まい手自らも楽しみながら維持管理に参加。

- **住宅性能評価に基づいた長期にわたる維持保全計画に、住まい手の家まもりプログラムを組み込み、『代々長持ち住宅長期維持管理計画・維持管理ガイドライン』を策定**
- **家楽倶楽部 (イエラクラブ) (図中④)**・・・家の手入れを楽しむ

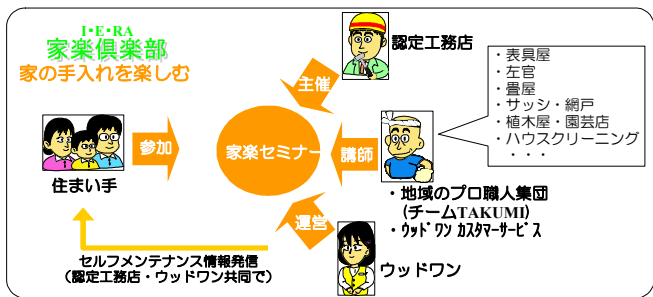
### 1) 認定工務店と共同での住まい手へのセルフメンテナンス情報発信と実施確認

- ・自主点検手帳 (長期維持管理計画、セルフメンテナンスガイドライン/チェックシートを含む) を提供。
- ・長期維持管理計画に基づき、家を長く持たせるためのメンテナンス情報をタイムリーに発信 (往復はがき：返信欄は自主点検チェックシート、DM、等)
- ・住まい手の自主点検状況は、認定工務店、ウッドワン両者にて確認

### 2) 家楽セミナー・・・住まい手による家まもり、それをバックアップする地域の認定工務店・プロ職人

地域の認定工務店と共同で、地域のプロ職人集団による『チーム TAKUMI』を結成し、長期にわたる点検・メンテナンス体制を整備すると共に、住まい手自らも維持保全に参画できる環境を構築する。

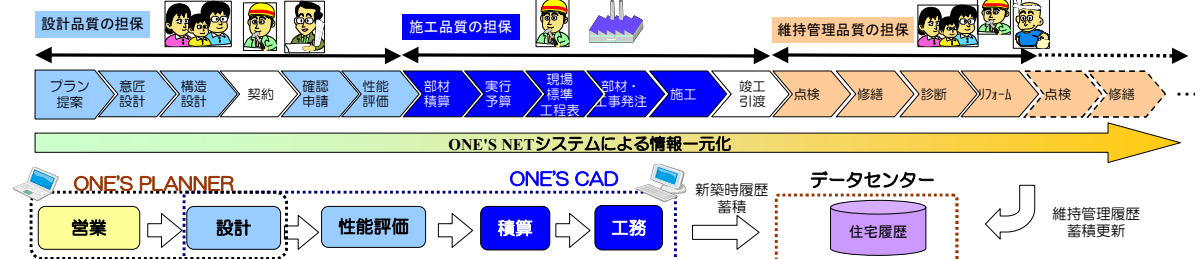
- ・全国 42 箇所 の WAS200 情報プラザにて認定工務店主催の家楽セミナーを開催。
- ・住まい手が出来る仕事と職人専門の仕事とを明確化。
- ・自ら出来る仕事を直接『チーム TAKUMI』から学ぶことにより、セルフメンテナンスへ誘導。
- ・『チーム TAKUMI』は、住まい手に対しメンテナンス技術指導と合わせて、地域に根付いた街並みの維持を啓発。
- ・修繕履歴の保管方法・利用方法の指導・啓発。
- ・地域の生業・生態系の維持再生。(地域の職人の手仕事を担保して技術を継承)



## 3. 住宅品質担保のための、ウッドワン情報一元化システム (ONE'S NET) を中心とした情報連携(図中③)

意匠設計・構造設計・積算・プレカット・工程管理までをデータ連動させ各工程間の情報整合性を確保し、それと共に詳細積算データに基づく部品レベルの明細データを履歴保存することにより維持管理での活用を容易とする。また引渡後の維持管理情報も加えていく事により全ての情報を一元化できる。

### ■ウッドワンオリジナル情報一元化システム (ONE'S NET)



### ■提案者からのコメント

ウッドワンは、住宅部材 (住宅内装建材・構造材・住設機器) の製造販売のみならず、省施工部材開発、住宅性能型式認定の取得、門型ラーメンフレームの開発等で培ったノウハウを基に、設計図書作成支援や住宅一棟分の積算支援、構造計算書作成等、地域工務店のサポートを一貫して行ってきました。

本提案においても地域工務店をサポートする立場から、地域工務店と共に、地域工務店による長期優良住宅の普及・啓発に貢献して行きます。